

試験問題および解答紙

科目名 M4 腫瘍・輸血・血液学

<1>代表的ながん遺伝子はどれか

- a. abl b. p53 c. BRCA1 d. WT1 e. RB

<2>65歳の男性。大腸がんの肝転移例である。少し身の回りのことができるが1日の大半は横になってテレビを見ていることが多い。Performance status (PS) はどれか。

- a. 0 b. 1 c. 2 d. 3 e. 4

<3>良性腫瘍と悪性腫瘍の比較に関して適切なものはどれか。2つ選べ。

- a. 腫瘍の増殖速度は一般的に、良性腫瘍が速く、悪性腫瘍はゆっくりである。
b. 悪性腫瘍は浸潤性増殖が特徴で、良性腫瘍は圧排性増殖が特徴である。
c. 悪液質は腫瘍共通の特徴で、良性腫瘍、悪性腫瘍ともに高頻度に認められる。
d. 被膜形成は悪性腫瘍では高頻度に認められ、良性腫瘍には見られないのが一般的である。
e. 遠隔転移は悪性腫瘍の特徴で、良性腫瘍の広がりは局所限局的である。

<4>アポトーシス関連分子はどれか。2つ選べ。

- a. メタロプロテアーゼ b. FAS c. カスパーゼ d. K-ras e. EGFR

<5>わが国の部位別にみた悪性新生物の年齢調整死亡率について、男性の第2位のがんの部位はどれか。

- a. 前立腺がん b. 乳がん c. 胃がん d. 大腸がん e. 肺がん

<6>わが国の部位別に見た悪性新生物の年齢調整死亡率について、女性の第2位のがんの部位はどれか

- a. 前立腺がん b. 乳がん c. 胃がん d. 大腸がん e. 肺がん

<7>男性におけるがんの原因について日本とアメリカともに喫煙の人口寄与割合はほぼ何%と推定されているか。もっとも近い数値を選べ。

- a. 90 b. 70 c. 50 d. 30 e. 10

<8>放射線影響について正しいのはどれか。

- a. 放射線による胎児奇形は器官形成期に起こる。
b. 発癌は確定的影響である。
c. 放射線治療に伴う副作用は閾線量がない。
d. 正常幹細胞は放射線影響を受けにくい。
e. 放射線による腫瘍縮小はアポトーシスが主因である。

<9>肺癌に関する放射線治療で謝りはどれか

- a. 有痛性骨転移…緩和照射
b. 多発性脳転移…全脳照射
c. stage1Aの非小細胞肺癌…定位放射線治療
d. 小細胞肺癌根治症例…予防的全脳照射
e. 転移性甲状腺癌…ヨード内用療法

<10>検査対象と画像診断法との組み合わせのうち適切でないのはどれか。2つ選べ。

- a. 甲状腺癌…超音波診断
b. 転移性脳腫瘍…CT
c. 膵癌…MRCP
d. 早期胃癌…FDG-PET/CT
e. 卵巣癌…MR

<11>腫瘍と画像所見との組み合わせで正しいものはどれか。2つ選べ。

- a. 乳癌骨転移…骨シンチグラフィ…精巣欠損
b. 高分化肺癌…高分解能CT…空洞を伴う結節
c. 肝細胞癌…ダイナミック造影CT…後期相での濃染
d. 悪性リンパ腫…FDG-PET/CT…脾の集積亢進
e. 嚢胞性腫瘍…MR…T2強調画像で高信号

試験問題および解答紙

科目名 M4 腫瘍・輸血・血液学

<12>no touch operation の原則を説明するシエーマを示す。術後の吻合部再発を低下させる行為はどれか。2つ選べ。

- a. 腸管を包む
- b. 腸管を縛る
- c. 腸間膜の不接触
- d. 動静脈の早期処理
- e. 距離を離れた離断

<13>外科的に根治切除の対象になりうる転移様式 どれか。

- a. 血行性肝転移
- b. リンパ節転移
- c. 播種性腹膜転移
- d. 血行性骨転移
- e. 癌性リンパ管症

<14>腫瘍崩壊症候群について誤っているものはどれか。

- a. 薬剤感受性の高い腫瘍で生じやすい。
- b. 高カリウム血症をきたす。
- c. 低尿酸血症をきたす
- d. 腎機能障害をきたす
- e. 予防に十分な補液を行う

<15>SIADH について正しいものはどれか。

- a. 脱水の所見を認める。
- b. 低浸透圧血症を認める。
- c. 意識障害は出現しない。
- d. 異所性 ADH 産生腫瘍として骨肉腫が多い。
- e. 治療による1日の血清ナトリウム濃度上昇は 30mEq/L 以下とする。

<16>遠隔転移を有する食道癌の治療について正しいのはどれか。

- a. 原発部位の切除
- b. 全身への放射線照射
- c. 全身化学療法
- d. 化学放射線療法
- e. 内視鏡的粘膜切除

<17>早期胃癌はどれか。

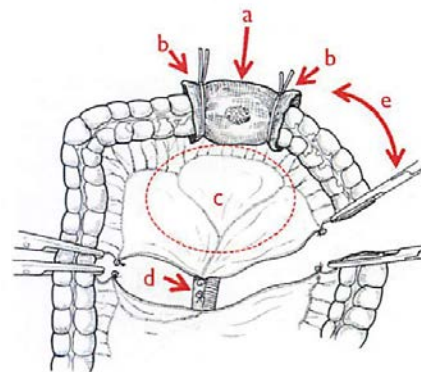
- a. 隆起している。
- b. リンパ節転移がない。
- c. 長径が 2cm 未満である。
- d. 潰瘍が 1cm 未満である。
- e. 進達度が粘膜下層までにとどまる。

<18>同じ薬剤を同じ投与経路で以下の方法で投与した場合に治癒強度が最も強いのはどれか。

- a 毎日 10mg/m²
- b 2週毎に 300mg/m²
- c 4週毎に 400mg/m²
- d 1回 300mg/m² を1週に1回、連続2週投与1週間休薬
- e 1回 250mg/m² を1週に1回、連続2週投与1週間休薬

<19>化学療法に対する感受性が最も低いがん腫はどれか。

- a びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫
- b 急性骨髄性白血病
- c 小細胞肺癌
- d 胚細胞腫
- e 大腸がん



試験問題および解答紙

科目名 M4 腫瘍・輸血・血液学

<20>シクロホスファミドはいずれに分類されるか。

- a. アルキル化薬
- b. 代謝拮抗薬
- c. トポイソメラーゼ阻害薬
- d. 抗腫瘍性抗生物質
- e. ビンカルカロイド

<21>シスプラチンの作用機序として考えられているものはどれか。

- a. DNA 鎖架橋形成
- b. チュブリン鎖重合阻害
- c. トポイソメラーゼ II 阻害
- d. チロシンキナーゼ阻害
- e. DNA ポリメラーゼ阻害

<22>肺癌の術後補助化学療法の適応となるステージはどれか。

- a. IA, IB
- b. IB~II
- c. II~III
- d. IB~III A
- e. III A, III B

<23>59歳の女性。乳癌術後(中等度リスク、ホルモンレセプター陽性、HER2陽性)。

本症例の術後補助化学療法の組み合わせとして適当なものはどれか。

- a. トラスツズマブ+アントラサイクリン→ホルモン療法
- b. トラスツズマブ+タキサン→ホルモン療法
- c. ホルモン療法→トラスツズマブ+アントラサイクリン
- d. ホルモン療法→トラスツズマブ+タキサン
- e. ホルモン療法のみ

<24>上咽頭癌について正しいのはどれか。

- a. HPV-16が発症に関与
- b. stage I / IIでは手術療法が標準である
- c. stage III / IVに対して減量手術が有効である
- d. 非角化型は放射線感受性が高い
- e. 遠隔転移があっても治癒が期待できる

<25>胚細胞腫瘍発症危険因子で誤っているのはどれか。

- a. 家族歴
- b. 停留精巣
- c. 不妊症
- d. 反対側の精巣腫瘍
- e. 喫煙